

令和元年東日本台風では、全国各地で甚大な被害が発生したことを踏まえ、中川水系においても、事前防災対策を進める必要があり、以下の取組みを実施していくことで、甚大な被害を生じさせた平成13年6月洪水と同規模の洪水による浸水被害の解消を図る。



滑川市

中川放水路

中川

沖田川放水路

放水路整備等



要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援



水位計・監視カメラの活用
河川状況等ライブカメラ情報

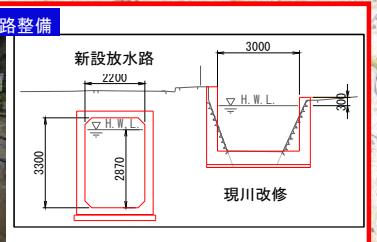
県HPに掲載
リアルタイムでの情報発信



- 凡 例
- 浸水範囲（計画規模1/50）
- 河川
- 流域境
- 市町村境



H13.6
溢水状況



- 汛溢をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- ・放水路整備 等【富山県】
- ・雨水貯留施設の整備（開発行為における調整池など）
【開発事業者】 等

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・災害リスクの現地表示、洪水ハザードマップの周知、浸水実績の周知【富山県・滑川市】
- ・洪水浸水想定区域図の作成【富山県・滑川市】
- ・避難訓練への住民参加促進及び住民参加【滑川市・住民】
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進【富山県・滑川市】
- ・水防災教育（出前講座の活用）、マイ・タイムラインの普及及び作成【富山県・滑川市・住民】
- ・災害情報普及支援、浸水被害軽減対策【富山県・滑川市】
- ・水位計・監視カメラの活用【富山県】
- ・事業継続力強化計画の策定促進【富山県】

等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

- 中川では、県、市が一体となって以下の手順の「流域治水」を推進する。
 - 【中期】流下能力不足解消のため、沖田川放水路整備等を実施する。
 - 【中長期】更に流域全体の安全度を向上させるため、河道掘削などの維持管理を実施する。
- あわせて越水、溢水の頻発箇所へは、必要に応じて、水位計や監視カメラを設置し、WEB上への配信追加・周知などを行うことにより、避難判断に役立てる。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	沖田川の整備 (放水路整備 等)	富山県			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	洪水浸水想定区域図の作成、避難訓練への住民参加促進及び住民参加等	富山県 滑川市 住民			
	水位計・監視カメラの活用	富山県		必要に応じて、越水、溢水の頻発箇所への設置やWEB上への配信追加・周知など	

【事業費(R5年度以降の残事業費】

■河川対策
全体事業費 6.1億円※
沖田川の整備 等

※県の河川整備計画の残事業費を記載

気候変動を踏まえたさらなる対策を推進

